

広告業協同組合／2019.9

関東経済産業局認可（昭和33年創立）  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26（芝信神田ビル）  
TEL.03(3251)6900 FAX.03(3253)3488

## 「第六十回通常総会」・新役員を選出

朝日新聞 編集委員

山脇岳志氏の記念講演・会員社の集い



## 「夏の例会」を開催

NPPO法人 気象キャスターネットワーク代表 理事長

藤森涼子さんの講演会・懇親会

# 新役員陣を選出

和納勉氏を理事長に重任、専務理事に小松茂氏、常務理事に今井祥雅氏、岩淵早樹氏、新田修平氏、佐藤孝氏を選出



広告業協同組合第六十回通常総会は、令和元年五月二十一日コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル（東京都中央区銀座六丁目）で開催された。

事務局長より本人出席、委任状出席、計七十二人となり、定足数を満たして総会は成立している旨の報告を受け、通常総会は開会された。



《現同社会長》の開会挨拶の後、川原猛氏（株）トーカンエクスプレス代表取締役）を議長に選任した。

第一号議案「平成三十年度決算関係承認の件」につき和納勉理事長が説明、ついで大津裕司監事（株）日宣代表取締役社長）より同決算につき公正に処理されている旨の監査報告がなされ、満場異議なくこれを承認した。

第二号議案「令和元年度事業計画ならびに収支予算承認の件」につき和納理事長より説明を受け、全会一致でこれを承認した。



監事選挙結果が公表され、二十名の理事ならびに二名の監事が選出され、これを全会一致で承認した。

つづいて別室において理事会を開催し、和納勉氏（株）クイック代表取締役社長《現同社会長》を理事長に重任した。専務理事に、小松茂氏（東栄広告（株）代表取締役）、常務理事に、今井祥雅氏（株）マイインドシエア代表取締役）、岩淵早樹氏（株）サン・アド代表取締役）、新田修平氏（株）ユアーズプランニング代表取締役）、佐藤孝氏（株）リクルーティングサービス代表取締役）をそれぞれ選任した。

和納理事長が就任の挨拶を行った。そのなかで、和納勉理事長は、山上徳夫理事（株）一広グループホールディングス代表取締役）に、理事長代行として、理事長をサポートしていただくようお願いした。

このあと、事務局長より平成三十年度組織強化感謝賞が発表され、山上徳夫氏（株）一広グループホールディングス代表取締役）、和納勉氏（株）クイック代表取締役社長《現同社会長》）、岩淵早樹氏（株）サン・アド代表取締役）、小松茂氏（東栄広告（株）代表取締役）、大津裕司氏（株）日宣代表取締役社長）



## 通常総会記念講演

# 「トランプ政治とメディア」

朝日新聞編集委員 山脇岳志氏

佐藤孝氏（株）リクルーティングサービス代表取締役）に感謝状が贈呈された。

つづいて、同ホテル「桜の間B」において、朝日新聞編集委員 山脇岳志氏による記念講演「トランプ政治とメディア」が行われた。

会員社、新登録代表者の正会員社と、特別会員社の金山達也様（朝日新聞社東京本社メディアビジネス局長）、近藤豊和様（産経新聞社東京本社メディア営業局長）、広田勝己様（毎日新聞社取締役営業担当営業総本部長）からご挨拶をいただいた。

山脇岳志氏は、1964年兵庫県生まれ。京都大学法学部を卒業し朝日新聞に入社。経済部で金融・財政、情報通信分野などを取材。その後オックスフォード大客員研究員、ワシントン特派員、論説委員、経済部次長。日曜日に発行される別刷りのGLOBE編集長、アメリカ総局長を経て、現在編集委員を務める。

著書に「郵政攻防」（朝日新聞社2005年）、「日本銀行の真実」さまざまよえる通貨の番人」（ダイヤモンド社1998年）などがあり、共著による

「現代アメリカ政治とメディア」を4月に東洋経済新報社から上梓した。

記念講演では、山脇氏自身が現地でカバーした大統領選を振り返り、アメリカの選挙制度や社会や政治情勢を解説。ヒラリー・クリントン氏の当選を予測した世論調査のどこに問題があったかなどについても分析した。

また、トランプ氏の勝因として、メディアの利用の巧みさを挙げ、敵対しているようにみえるテレビとの関係も、特に選挙戦序盤においては、「Win Win」の面があったことを指摘。



また、トランプ氏がトランプ氏を批判するメディアを攻撃することによって、メディアの信頼度を下げることになったことや、フェイクニュースが広がった背景についても解説した。

トランプ政権発足後は、政治（世論）とメディアの世界の双方で分極化がさらに進んでいる。暴走する権力へのチェックの必要性は高まっている面と同時に、メディアが一方的なトーンで報道をしないことを心がけ、メディアへの信頼を高める努力が必要だと述べた。

# 令和元年〜令和二年度役員

敬称略・社名五十音順  
令和元年五月二十一日選出



理事長  
和納 勉



常務理事  
今井 祥雅



常務理事  
佐藤 孝



常務理事  
岩淵 早樹



理事(理事長代行)  
山上 徳夫



専務理事  
小松 茂



常務理事  
新田 修平



理事  
中筋 哲久



理事  
小島 正登



監事  
星野 順行



理事  
金子 孝暎



理事  
金澤 隆夫



理事  
吉井 雄二



理事  
小野瀬 孝行



監事  
佐々木 直人



理事  
新井 寿一



理事  
松本 正治



理事  
谷澤 律



監事  
赤池 文孝



理事  
井上 慶悠

理事長  
和納 勉  
(株)クイック代表取締役会長

専務理事  
小松 茂  
東栄広告(株)代表取締役

常務理事  
今井 祥雅  
(株)マインドシェア代表取締役

常務理事  
岩淵 早樹  
(株)サン・アド代表取締役

常務理事  
新田 修平  
(株)ユアースプランニング代表取締役

常務理事  
佐藤 孝  
(株)リクルーティングサービス代表取締役

理事(理事長代行)  
山上 徳夫  
(株)一歩グループホールディングス代表取締役

理事  
中筋 哲久  
(株)アド・エヌ代表取締役

理事  
金澤 隆夫  
(株)アドバード代表取締役

理事  
新井 寿一  
(株)コーセードー代表取締役

理事  
井上 慶悠  
(株)宏和デザイン代表取締役

理事  
小島 正登  
(株)小島折込広告社代表取締役

理事  
吉井 雄二  
(株)産経広告社代表取締役社長

理事  
松本 正治  
(株)サンヨー代表取締役

理事  
星野 順行  
(株)スカウト代表取締役

理事(新任)  
小野瀬 孝行  
(株)太陽企画代表取締役

理事  
谷澤 律  
(株)千代田広告社代表取締役社長

理事(新任)  
大津 裕司  
(株)日宣代表取締役社長

理事(新任)  
金子 孝暎  
(株)フロム・エー・ジャパン代表取締役

監事  
佐々木直人  
(株)大宣社代表取締役

監事(新任)  
赤池 文孝  
(株)東通メディア代表取締役社長

# 和納理事長挨拶

## 新しいACC Aを作り続ける

通常総会に続いて、コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル会議室(龍田の間)において、「会員社の集い」を開催。和納理事長(㈱クイック代表取締役社長《現会長》)が挨拶し、新たに選任された役員陣を全員紹介した。

### (和納理事長の挨拶)

皆様、こんにちは。雨の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。先ほどの総会で、理事長に再任され



ました和納でございます。理事も選任され、三役も新たな体制でスタートすることになりました。

ACC Aには、六十年の歴史がございます。六十年と言えば、私がまだ小学校の頃です。ほんとに歴史を感じます。ACC Aは協同組合としてスタートしました。協同組合は、ご存じのように、共同購入、共同事業など、中小企業が集まって、一社ではできないことをやっていこうという団体でございます。

その間、広告界にも変化がありました。特に四大マスメディアの他に、ネット広告というのが出てきました。ネット広告もこの三年から五年で激変、様変わりし、今や、グーグルをはじめとする、検索で、いろいろな広告の操作ができるという時代になってきています。

この、ソーシャルメディアを含めて、ネットの世界が、もう、随分世の中を

変えてきていると感じております。

そういう中で、ACC Aも、徐々に変わりがつあります。若いメンバーを増やし、新しい広告の動きを模索しながら、ACC Aは今後も、百年を目指してまいりたいと考えています。

私が二期目で再任されました時に、やんちゃな組合、そういう組合を作っていくという話をしました。やんちゃであるということは、若さを常に保っていくこと、そして、新しい動きをしていくということにもつながるかと思えます。新しいACC Aを常に作り続ける。すなわち、広告界の中でも、ベンチャー的な気質を持って望んでいくということが、ACC Aにとって必要かと、私は思っています。

そういう意味で、三役も新しい体制に作り直し、二年にわたってACC Aの未来を考える会を継続しACC Aのあり方を考え直してまいりました。これも少しずつ成果が出ています。

そういう中で、三期目を迎えました。ぜひ、皆様方とともに、ACC Aを盛り上げてまいりたいと思っております。ご協力を賜り、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

### ㈱リビコー代表取締役会長

## 星野時夫様の挨拶

つづいて、長年、組合役員を務め、組合活動に貢献した星野時夫様(㈱リビコー代表取締役会長)に和納理事長より感謝状と記念品を贈呈した。

### (星野様の挨拶)

このたび、感謝状をいただき、ありがとうございます。

かれこれ二十七年くらい、理事を務めさせていただきました。また、常務理事までさせていただき、会員の皆様方、理事の皆様方にも大変お世話になり、今日まで務めさせていただきました。

ほんとにありがとうございます。皆様の協力と、理事の皆様方の努力によって、この会がうまく運営されるということでございます。



残念ながら、当時、一七〇数社の会員社も、現在、先だって私が面談させていただき新しく入会した社を含め一〇一社になりました。一〇〇社を切るか切らないかという状況になった中、理事を降りるのは、非常に寂しい思いもしますが、リビコーも、後任の社長には、若いエネルギーで、ACC Aを盛り上げていただいて、一〇〇社が一二〇社、一三〇社になれば幸いです。

本日は、感謝状をいただきまして、ありがとうございます。

### 乾杯のご発声

#### 朝日新聞編集委員

### 山脇岳志様

このあと、記念講演でご講演いただいた朝日新聞編集委員 山脇岳志様のご発声で乾杯し、会員社と特別会員社の参加者が和やかに懇談した。

### (山脇様の挨拶)

本日は、ACC A第六十回通常総会、誠にありがとうございます。僭越ですが、ご指名ですので、乾杯の音頭をとらせていただきます。

アメリカの有名な監督であり俳優でもあるウッディ・アレンを、皆さん、



ご存じだと思います。

アレンさんがおっしゃったことで、私が好きな言葉があります。それは「Percent of success is showing up」というものです。

Showing upとは、姿を現すということ、顔を出すということ、成功の八〇パーセントは、顔を出すことにある」という意味だと言われています。

こんな悪天候の中、ここに来られるだけで大変だったと思いますが、やはり人の縁を大切に、直接交流することとは大事なことだと思います。

この言葉には、もう少し深い意味があるという見方もあります。新たに人に会うということにも通じますが、現状維持ではなくて新たな環境に適応し、一歩踏み出していくのが大事だという意味もあるというものです。

先ほどの和納理事長の、ベンチャー精神を持って、この組合を運営してい

くということにもつながるように思いました。

それでは、ACC Aの、今後のますますのご発展と、ここにおられる方々のご健勝をお祈りして、杯を上げたいと思います。

乾杯！

### 中締め挨拶

## 小松専務理事

和やかな歓談のち、小松専務理事(東栄広告㈱代表取締役)が中締め挨拶を行った。

### (小松専務理事の挨拶)

本日は、お足元の悪い中、第六十回通常総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

ACC Aは若い人を起用して、常務理事を四人体制にいたしました。

そうすることで、各部会の活性化、ひいては、二年前からやっている「ACC Aの未来を考える会」の更なるテコ入れをして、単なる部会ではなく、理事会等の席上でも、ACC Aの未来を考えていく活発な意見交換の場にできればと思っています。先ほどご挨拶にございましたように、今、会員社は

一〇一社ですが、新体制の活動の結果、広告関係会社の間で、ACC Aというものはものすごい元気らしいぞと、入ると為になるぞと、自分も成長できるぞという噂が広がり、新規入会社が増えることを確信しています。そして、一八〇社、二〇〇社というビジョンを頭に描きながら、日々のACC Aの活動を、より充実したものにしたいと思います。

そのためには、ここにご列席賜りました皆様方のお力が必要ですので、何とぞ、組合活動により一層のご支援、ご協力いただくことを、高い席からでございますが、お願い申し上げます。それでは、皆様の更なるご隆盛とご健勝を祈念し、関東一本締めで締めさせていただきます。

では、お手を拝借いたします。よお(関東一本締め)

本日は、誠にありがとうございました。





# 正会員新入会・新代表者のご挨拶

五月二十一日の「通常総会の会員社の集い」と七月十七日の「夏の例会懇親会」で、正会員新入会員の高崎誠司氏（㈱プレシヤスパートナーズ 代表取締役）と菊池保人氏（㈱アントレ 代表取締役）、中川高一氏（ルーキーワークス 代表取締役）、新代表者の木谷泰夫氏（㈱大成広告社 代表取締役社長）、新登録代表者の麥沢真吾氏（㈱リビコー 代表取締役社長）と中山博一氏（㈱産通 取締役東京支社長代理）が挨拶した。

## 新入会員社（株）プレシヤスパートナーズ 代表取締役 高崎誠司様のご挨拶

このたび、リクルーティングサービスの佐藤社長にお声がけいただきまして、正会員として入会させていただきましたプレシヤスパートナーズの高崎でございます。

私も、十一年前に会社を立ち上げまして、今、東京の新宿を中心に、大阪、名古屋、福岡と、三拠点を展開



しております。

まだまだ微力ではございますが、ほんとに、この、伝統のあるACAに参加させていただきまして、少しでもお力添えができればなと思っております。

今後とも引き続き、よろしくお願いたします。

## 新登録代表者（株）リビコー 代表取締役社長 麥沢真吾様のご挨拶

麥沢という名前、滅多にいないと思います、皆さんの周りにも。親父が、

岩手の二戸の方の出身で、麥沢という名を名乗っております。

先ほど、当社の会長が、功労者表彰をいただいておりますけれども、私は、そんなに目立つタイプではありませんので、どんなお役に立っているのかなというところと、自分がまだ、代表になってから二年半、ほんとに何ができるか分からないなか、皆さんのお力添えをいただきながら、頑張っております。

先ほど、若いということを言われましたが、確かにこの会ですと、四十歳なので、多分、若いほうかなと思うんですけど、先日、IT、アプリ系の会合に出たところ、僕はおじいちゃん役



でした。皆さん、二十代、三十代。皆、その後輩からは麥沢おじさんと呼ばれております。

時代が目まぐるしく変化する中で、テクノロジーが、かなり進んでいますけれども、私は、コミュニケーションとか、人間のつながりとかきずなを大切に生きていきたいなと思ってますので、これから、若輩者ではございますが、少しでも、この会のお役に立てればなと思っております。

## 新代表者（株）大成広告社 代表取締役社長 木谷泰夫様のご挨拶

皆さん、こんばんは。ただ今、ご紹介いただきました、大成広告社の木谷でございます。高いところから、大変失礼いたします。

私自身は、元々銀行員でございまして、三菱UFJ銀行のほうに二十九年、三菱UFJニコスのほうに四年おりまして、今回、突然、当業界に参ることになりました。

新米社長であるに加えて、当業界での新参者でございますが、一所懸命、業界の発展に貢献できるように、ベストを尽くす所存でございますので、どうか、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしく

お願い申し上げます。



## 新入会員社（株）アントレ 代表取締役 菊池保人様のご挨拶

リクルートグループから、四月一日に事業そのものをMBOしまして、会社として立ち上げました。

実は、二十二年前に「アントレ」という、独立開業を支援するメディアを、リクルートの中で創刊いたしました。

今は、主に、フランチャイズとか、代理店契約をして、個人の方が二十年経理やってました、とか、三十五年工場で生産管理やってらっしゃいましたみたいな方の、独立を支援するメディア

アです。リクルートを離れましたので、独立全般を支援する事業にしたいと思っております。

先ほど、藤森様の講演に天気のカタ、自然のカタ、みたいな話がありましたけど、私たちは、実はメッセージとして、こういうことを言っています。「独立の味方です アントレ」。よろしくお願いたします。



## 新入会員社（株）ルーキーワークス 代表取締役 中川高一様のご挨拶

今回、ご縁がありまして、ACA様に入会させていただきました。

当社は、求人広告代理業から始めまして、今は、学生専門の求人サイト「R

oky」というサイトも運営させていたいております、あとは、外国



人の採用のイベント「JOBFAIR」という、大学と一緒に開催しているマッチングイベントも運営させていたいております。

同業である、広告業の諸先輩方はじめ、いろいろな方々と、交流させていただきながら、成長していきたいと、会社としても成長していきたいという思いで、今回、入会させていただきました。

ぜひ、勉強させていただきながら、成長していきたいと思っております、今後ともよろしくお願いたします。

## 新登録代表（株）産通 取締役東京支社長代理 中山博一様のご挨拶

こんばんは。新しく、組合登録代表として、登録させていただきました、産通の中山です。

当社は、昭和二十八年に設立された会社で、歴史の、社歴のある会社です。

その中で、諸先輩方が、このACA様とも、良い関係を作ってきてくださいました。

そういった関係を崩さないよう、また、いい形に発展させていただけると、尽くしてまいりたいと思っております、よろしくお願いたします。



講演会と懇親会

七月十七日、広告業協同組合(ACA)恒例の「夏の例会」を開催した(会場「コートヤード・マリOTT銀座東武ホテル」東京都中央区銀座六丁目)。第一部・講演会は、藤森涼子さんによる「2100年未来の天気予報を見て考える」地球温暖化と異常気象」。

H.I.D.(国際・研修部会)担当・小島正登理事(㈱小島折込広告社)が、講師を紹介し講演を開始した。

藤森涼子さんは、熊本県生まれで、大学在学中にお天気お姉さんとしてテレビに出演され、一九九六年に氣象予



報士の資格を取得し、現在は日本テレビ「日テレニュース24」に出演中です。NPO法人「気象キャスターネットワーク」代表 理事長にして環境省 地球温暖化防止トップコミュニティリーダー、気象庁「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の委員をされています。

また、環境、防災、気象をテーマに活動し、特に出前授業や親子向けイベントなどに精力的に取り組んでいます。

第二部の懇親会は、親睦部会担当・金子孝映理事(㈱フロム・エージェン)が司会を務め、和納勉理事長の開会挨拶ののち、講演会講師の藤森涼子さんの乾杯で懇親会をスタートした。

懇親会では通常総会で選出された新役員の小野瀬孝行理事(㈱太陽企画)、金子孝映理事、赤池文孝監事(㈱東通メディア)が就任挨拶を、また、新たに社長に就任した木谷泰夫氏(㈱大成広告)、新入会員の菊池保人氏(㈱アントレ)、中川高一氏(ルーキーワークス(株))、新登録代表者の中山博一氏(㈱産通)が挨拶をした。

最後は小松茂専務理事(東栄広告(株))による中締めで、夏の例会は盛況のうちを終了した。

2100年未来の天気予報を見て考える

地球温暖化と異常気象

NPO法人気象キャスターネットワーク代表 理事長 藤森涼子さん

皆さん、こんばんは。今、ご紹介いただきました藤森涼子と申します。

最近、テレビで異常気象とか、気象災害のニュースを見る機会が増えてま

すよね。その原因は、極端な気象現象が、増加しているからです。

去年、熊谷市で四一・一度の日本の最高気温を観測しました。それまでは、

四万十市の二〇一三年に観測した四一・〇度。そして去年は、下呂市金山と美濃でも四一度を観測しています。ずっと見てみますと、山形の四〇・八度、これが一九三三年の記録です。それ以外は、一九九〇年代から、二〇〇〇年代に観測しています。三五度以上の猛暑日という言葉は、二〇〇七年に作られた言葉です。

続いて、大雨です。七月に鹿児島県で、一週間くらいは、一〇〇



の天気予報を聞いてください。

2100年未来の天気予報

「皆さん、こんにちは。気象予報士の藤森涼子です。今日は二一〇〇年、未来の夏の天気予報をお伝えします。

まずは、今日の最高気温からご覧く

ださい。埼玉県の熊谷では四五度、群馬県の館林では四四・四度、東京・練馬でも四三・六度と、記録的な暑さとなりました。この暑さで、今日までに、全国で十二万人が、熱中症で、病院に運ばれています。最高気温が三〇度以上の真夏日の日数です。那覇で一八四日、六カ月、大阪で一三六日、四カ月半、東京で一〇四日、三カ月半、そして北海道の札幌でも四〇日と、一カ月以上に達しています。

では、全国、明日の予報です。明日も太平洋高気圧に覆われて、朝から強い日差しが照り付けそうです。予想最高気温をご覧ください。東京、名古屋で四四度、大阪で四三度、そして北海道の札幌でも四一度と、猛烈な暑さが続くでしょう。熱中症に、厳重に警戒してください。



ミリ以上という大雨が降りました。被害が大きかったのが、平成三十年の七月豪雨。十日間くらいの降水量が、高知県で一八〇〇ミリを超える岐阜県でも一二〇〇ミリを超えました。特に被害が大きかったのが中国地方ですが、ここは、そんなに降っていません。元々瀬戸内側というのは、雨が降る場所ではないので、三〇〇ミリくらい降っただけで、大きな災害になってしまうことがあります。

近年の雨の降り方は、局地化、集中化、激甚化していて、新たなステージに入ったと言われています。国土交通省がこう言い始めたんですが、国が、激甚化なんていう強い言い方は普通しません。それほど、雨の降り方は、昔と明らかに変わってきています。ただ、年間の降水量が多くなっているわけでもなく、雨の降り方が極端になってきているんです。こういう現象が、地球温暖化の影響ではないかという風に言われています。

そして、台風です。去年の台風二十一号では、関西国際空港が水没し、関東地方でも、日曜日夜八時からJRを止めました。この時は、東京の八王子で四五・六メートル。羽田空港で、四〇メートルを超える暴風が吹きま

続いて、大雨情報をお伝えします。上空に寒気が入って、大気の状態が不安定となっています。今日は局地的に、一時間に一〇〇ミリを超える猛烈な雨の降った所がありました。大雨による川の氾濫や、がけ崩れなどが、各地で発生しています。また、大雨の降って

いる所がある一方、全く雨が降らず、農作物が枯れるという被害も発生しています。

最後に台風情報をお伝えします。今、日本の南海上には、猛烈な台風一〇号があります。中心気圧が八九五ヘクトパスカル、最大風速六五メートル、最大瞬間風速が九〇メートル、竜巻のような風を吹かせる台風です。今後の予想をご覧ください。この台風は、勢力を維持したまま、ゆっくりと北上していきそうです。西日本から東日本のどこかに上陸する恐れが高くなってきました。これまでに経験したことのないような、大雨、暴風、高波、高潮の発生する恐れがあります。皆さん、最大級の警戒をお願いします。

以上、二一〇〇年未来の天気予報、気象予報士藤森涼子がお伝えしました。(拍手)

これは、気象研究所が、二一〇〇年、地球温暖化が進んだ場合にはこういう気温になる、というデータから作ったものです。

地球温暖化の原因ですが、これはご存じ二酸化炭素/CO2温室効果ガスですね。昔も、私たちはCO2を出していました。でも、それは植物や海が吸収してくれてCO2の量という

は、大体一定に保たれていたんです。今は、吸収しきれなくなった二酸化炭素が、空気中にたくさん、漂っている状態です。これは何千年たっても消えません。これで、地球温暖化という現象を引き起こしているわけです。

海にも、地球温暖化の影響が出ています。私は海の写真を撮るんですが、二〇一六年の五月に宮古島でシュノーケリングをした時は、ほんとにサンゴも生き生きとしていました。ところが、同じ場所に九月にいったら、サンゴが白化していました。海の中全体が真っ白の、雪化粧したようになっていました。二〇一六年は、実は、記録的な高温で、三〇度以上の真夏日の日数が石垣島で一六二日、一年の半分近くが真夏日だったんです。

### 適応策としての天気予報

温暖化の対策には、適応策と緩和策があります。地球温暖化の悪い影響に、自分が被害に遭わないように備えていくというのが適応策です。そして、二酸化炭素を減らすというのが、緩和策です。

昔は、この緩和策が温暖化対策の中心でしたが、今は、どんなに減らしても、減らすだけでは温暖化は止まらな

いので、適応策をしっかりやっていくと、国でも取り組み始めています。

温室効果ガスを減らす緩和策は、自然エネルギーの割合を増やしていくことや、植物は二酸化炭素を吸収してくれますので森などを増やしていくこと、整備していくということですね。

温暖化による悪影響に備える適応策は、天気予報を見ることがお願しいと思います。気象情報を利用して、自然災害から、命や財産を皆さん自身で守ってください。

気象庁では、防災気象情報を出しています。時系列で危険度を色分けで出すようになります。警報級の可能性も発表するようになります。災害の発生する恐れがあるような警報級の大雨のときには、警報の可能性が有りますという情報も出すようになっていきます。それから、特別警報は、より地域を絞り込んで発表されるようになっていきます。

土砂災害、洪水、浸水害のリスクについて、気象庁では、危険度分布という情報を地図で出すようになっていきます。二〇〇ミリの雨が降っても、大丈夫な場所と大きな災害の発生する場所もありますので、予想雨量だけではなく、危険度を予想するように変わって

きています。

そして、今年、警戒レベルの危険度を五つに分けました。これは、気象庁の情報、自治体の情報などが出るようになり、何の情報でどう逃げればいいのか分からないということで、警戒レベルを五段階に分けて、気象情報と危険度というのを紐づけしたんです。気象庁では、この、レベル4で逃げてくださいと伝えていきます。

災害は同じ場所で繰り返します。ですから、自分の住んでいる地域に過去どういう災害があったのかを一度調べてみてください。それから、必要な情報は自ら取りに行くようにしましょう。最後に判断するのは、やっぱり自分です。いつもと違うと思った時点で、自分で判断して、早めの行動をとってください。自分は安全だと思っている人が、一番危険です。危ない場所を見に行かないようにしてください。四人に一人ぐらいは、見に行ったりで、災害に巻き込まれています。そして最後は、大雨の被害を、いかに自分事として、考えられるかということだと思います。

では、以上で、私の話は終了させていただきます。皆さん、ほんとにご清聴、ありがとうございました。(拍手)

## 各行事レポート

各行事の詳しいレポートは、ACAホームページ「ニュース・活動報告」欄に掲載しています。

### ビジネスチャットフォーラム

三月二十七日、銀座会議室において、「ビジネスチャットを活用した業務効率化フォーラム」を開催した(ACAの未来を考える会主催)。フォーラムには、会員社から十八名が参加した。

講師の盛山翔平氏(Chatwork(株)事業推進本部)は、Chatwo



rkの導入企業が、IT企業、広告会社、マスメディア、教育機関など、多くの業種業界及び、2011年にサービスを開始して以来、すでに二十一万社(2019年二月末日時点)に導入されている実績を紹介した。その後、業務効率化を図るうえで必要なChatworkの機能を詳しく解説し、Chatworkを導入する際の管理者・推進者の選定、部門別の利用目的や運用ルールの作成などを説明した。また、導入企業について具体例を挙げて紹介し、さらに、Chatworkと連携可能な外部のサービスについても紹介した。その後、参加者からの質問に講師が詳しく答えた。最後に講師と参加者が名刺を交換しフォーラムを終了した。

### 新入社員実践研修

「ACA新入社員実践研修」は、四

月三日・四日・五日の三日間、新入社員二十一名が参加し午前九時三十分より午後六時までTKP浜松町ビジネスセンター(港区浜松町)において行われた(主催：H. I. D.《国際・研修部会》)。

講師は、竹内亜佐子さん。「社会人への意識改革、ビジネスマナーの習慣化、広告ビジネスの基礎知識の習得」を目的に行われた。第一日は、全体ガイダンスと自己紹介を行い、社会人



### 海外へのアウトソーシングフォーラム

四月十一日、組合会議室において、「海外へのアウトソーシングによる業務効率化フォーラム」を開催した(ACAの未来を考える会主催)。フォーラムには、会員社から六名が参加した。講師の金指 萌さん(㈱デルタソリューションズ海外事業部グループリーダー)は、まず、デルタグループを紹介し、ベトナムの労働人口、経済成長などについて説明した。その後、アウトソーシングの委託業務の部署別と業種別の案件例を解説し、さらに、応募葉書の入力&事務局、名刺入力&クラウドデータ連携など具体的に事例を挙げて詳しく解説した。その後、参加者からの質問に講師が事例に基づいて詳細に答えた。

## ACAカップ

四月十六日「武蔵カントリークラブ」にて、恒例の「ACAカップ」を、東日本復興支援チャリティゴルフコンペとして開催した。(主催 親睦部会)

雲一つない快晴のもと、特別会員、正会員、六組二十二名が熱戦を繰り広

げた。

熱戦の末、沼田弘市氏(株大光通信社)がグロス一〇〇、ネット七十一・二で優勝し、ベスグロは、家光隆典氏(株十二社)が、グロス八十一で獲得した。準優勝は家光隆典氏(株十二社)、三位は川原 猛氏(株トーカンエクस्प्रेस)。

なお、チャリティ募金は、参加者とACAカップに参加できなかった役員の協力により七万九千円が集まった。

## チームビルディング体感フォーラム

五月十五日午後五時三十分より、中日新聞東京本社507会議室において、「今いるメンバーで成果を出す！チームビルディング体感フォーラム」を開催した(ACAの未来を考える会主催)。フォーラムには、会員社から十一名が参加した。

講師の 照井春彦さん(株ケーエフエスコンサルティング チームビルディングコンサルタント・マインドフルネストレーナー)は、自己紹介ののち、フォーラムの概要を説明した。参加者は、三チームに分かれ、チーム力を向上のポイントについて講義を受けた後、ワークディスカッション形式でチームビルディングを体感した。



## オープンセミナー

六月六日、銀座会議室でオープンセミナーを行なった(広報取引部会、経営情報研究部会共催)。

セミナーには、ACAの会員社から多くの社員が参加した。

第一部の「二十万社以上が導入する日本初のビジネスチャットを開発したChatwork創業者が語るこれ

からの働き方」では、講師の山本敏行氏(ビジネスチャット Chatwork 創業者)は、アメリカと日本の働き方の違いを説明し、意識を変えるのではなく、仕組みやルールを変えることが重要だと解説。但し、アメリカと日本では、ベースが異なり、アメリカの仕組みをそのまま取り入れると歪みが出るため、注意する必要があると指摘した。その後、参加者からの質問に丁寧に回答。参加者との名刺交換を行った。

第二部の「チラシビジョンとは？」では講師の池田浩氏(RKB毎日放送(株)コンテンツ開発部部长)は、RKB毎日放送(株)とヤフー(株)が共同開発した「チラシビジョン」について、詳しく説明した。チラシの印刷物データから動画を作成し、PCやスマホのYahoo! JAPANのトップページと全国のテレビ局で動画を流すことができ、更に動画の二次使用も可能。チラシのデータから作成した動画やお客様活用事例などを紹介した。参加者から活発に質問が出された。また、チラシビジョンを共同開発したヤフー(株)マーケティングソリューションズ統括本部の馬場理恵子さんが参加者と名刺交換をした。